

学科名	電気電子工学科					
科目名	電気工学基礎実験 I (取りまとめ)					
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次前期	
必修・選択の別	必修(応用エレクトロニクスコース)/必修(エネルギー・環境コース)/必修(情報通信コース)					
担当者	原谷 直実、江崎 秀、牟田 浩司、堀内 幸造					
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直流計器の取り扱いと計器を用いた直流磁気測定法を習得する。</li> <li>・トランジスタやFET(能動素子)によるスイッチング回路の動作を理解する。</li> <li>・交流計器の取り扱いと計器を用いた交流回路測定法を習得する。</li> <li>・ダイオードの整流特性を理解する。</li> <li>・回路図に従って、回路の結線ができるようになる。</li> <li>・測定データの整理とグラフ化ができるようになる。</li> <li>・実験結果をレポートとしてまとめることができるようになる。</li> </ul>					
日程と内容	<p>第1回： ガイダンス：授業の進め方と概要、実験実施日程、成績評価法 等、授業に関する説明  実験テーマ：(1) 交流回路の測定、(2) トランジスタ・FETのスイッチング回路、(3) 静磁界の発生と測定、(4) ダイオードによる整流回路、を第2回から第9回まで実験実施日程表に基づいて行う。これらの実験が終了した者のみ、応用実験に着手することができる。</p> <p>第2回： 実験第1回  第3回： レポート第1回  第4回： 実験第2回  第5回： レポート第2回  第6回： 実験第3回  第7回： レポート第3回  第8回： 実験第4回  第9回： レポート第4回  第10回： 応用実験① (回路を読む)  第11回： 応用実験① (回路を読む)  第12回： 応用実験② (回路を組む)  第13回： 応用実験② (回路を組む)  第14回： 実験予備日、授業実施実績確認、授業評価  第15回： 実験予備日、授業実施実績確認</p>					
成績評価基準	定期試験		実技	60%		
	臨時試験		部外評価			
	報告書・レポート	40%	プレゼンテーション			
	課題		計	100%		
	演習					
授業到達目標の達成度	授業の到達目標をすべて授業計画に含め、授業計画通り授業を実施した。合格した学生は、授業到達目標を達成したと言える。					
反省点	すべての実験テーマにおいて、特に問題となる事項はなかった。実験の指導とレポート作成指導を並行して行わなければならない、レポート作成指導が十分でない点は、気がかりである。					
来年度の計画	成績評価方法を見直す。					
授業評価アンケートに対するコメント	レポート作成のための時間を授業時間外に確保しなければならないと思うが、自学自習時間が多くないのが気がかりである。提出期限は守るよう、努力して欲しい。					
履修登録者数	57 名	定期試験 受験者数	56 名	合格者数	55 名	合格率 98%